

環境みらい都市 事務局評定結果一覧（集計）表

整理番号	市町村名	アピール分野	評定値				加点	総得点	備考
			創意工夫	地域特性	地域連携	削減目標			
1	熊谷市	地域連携	18	18	40	18	0	94	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携の拠点として全国で2番目の「地球温暖化防止活動推進センター」を設置するのはユニーク。</li> <li>・緑の分権改革の県からの委託事業として太陽光発電を利用したバスの運行実証実験もおもしろい。</li> <li>・国や県の制度も活用しつつ、ヒートアイランド対策を独自に進めている点は高く評価できる。</li> <li>・削減目標も高く、防止活動センターの設置も素晴らしい。</li> <li>・“日本一暑いまち”をプラスに利用し各種取組を展開している。</li> <li>・地域推進協の設置や防止活動センター指定も、更なる展開に期待できる。</li> <li>・削減目標は高いが、進捗状況が調書からはわからない。</li> </ul>
2	所沢市	創意工夫	28	10	10	16	0	64	<ul style="list-style-type: none"> <li>・奨励金を温暖化防止に向けた住民の自発的な率先行動に向けた点は評価が高い。</li> <li>・補助金活用はフードマイレージの削減や地産地消を温暖化対策と同時に狙う取組はユニーク。</li> <li>・長期目標が確認できないほか、奨励金を一律とする政策判断もわかりにくい。</li> <li>・太陽光発電を奨励金から補助に変えたり、市域全体の温暖化対策を環境基本計画に内包させるなど、姿勢は評価できる。</li> <li>・標語を公募するなど努力の跡はわかるが、継続的な地域連携につながる取組が見えない。</li> </ul>
3	本庄市	地域連携	10	14	24	12	0	60	<ul style="list-style-type: none"> <li>・唯一のポイントが早大との連携で、他に創意工夫が見られない。</li> <li>・早稲田大学という地域の資源を今後も一層活用していこうという具体論に乏しい。</li> <li>・地域全体での削減目標も見当たらない。</li> <li>・早稲田大学の積極的な取組に引っ張られている印象で、市の主体性が感じられない。</li> </ul>
4	春日部市	地域連携	20	18	28	16	2	84	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市独自にレンタサイクル実証実験や地中熱利用ヒートポンプ普及促進を計画するなど取組の創意工夫が見られる。</li> <li>・エコまちづくり計画の評価にCO2やヒートアイランドの緩和に加え、賑わいの指標を加えていることも評価が高い。</li> <li>・加点理由…波及効果（1点）</li> <li>・施策の評価尺度について、優れた指標化を取り入れている。事業でも、実現可能性が高いことがわかる。</li> <li>・施策評価尺度が工夫されていて素晴らしい。費用対効果も意識していることがよくわかる（+1）。</li> <li>・コンパクトシティを目指し、発展途上ではあるが地域と連携して進めようとしている姿勢は評価できる。</li> </ul>
5	新座市	地域連携	12	10	24	12	0	58	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成事業がメインで何が地域連携なのか分かりにくい。創意工夫も感じられない。</li> <li>・緑のカーテンやエコライフDAYなどで市民ボランティアと連携している状況が理解できた。</li> <li>・観光との連携も理解できるが、アトム通貨を打ち出してもよいのでは。</li> <li>・取組メニューはいろいろあるが、際立ったものはない。熱心な活動団体に頼っている感じ。</li> <li>・市民大学の環境パートナーシップ学科は良い。卒業後の積極的な活動につなげられれば波及効果が高まるのでは。</li> </ul>
6	北本市	創意工夫	40	16	16	10	3	85	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政が自らカーシェアリングや環境自主参加型排出量取引制度参加などに取り組んでいることはユニーク。</li> <li>・調書上は削減目標なし。</li> <li>・環境省自主参加型排出量取引制度に補助金なしで参加し、省エネ診断を受けるなど、持続可能性があり、卓越した創意工夫が見られる（EVカーシェアも同様）。</li> <li>・EVカーシェアやデマンド交通の導入など、市民がその利便性から利用することでエコにつながる取組は素晴らしい。</li> <li>・自主参加型排出量取引制度では、ぜひ目標を大きく上回る実績を上げ、他自治体への波及を期待している。</li> </ul>
7	杉戸町	地域連携	12	12	32	10	7	73	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある取組はないが、エコライフDAY参加率アップなど地道に取組を行っている点は評価できる。</li> <li>・町と住民・事業者の協働組織として「すぎと環境会議」を作るのもおもしろい。</li> <li>・加点理由…予算を必要としない取組が多いため、費用対効果、持続可能性が高い。（2点）</li> <li>・エコライフDAY参加報告書で「ココに注目」を設け定量化を図るなど、住民にわかりやすい効果を示し、波及効果が高い。</li> <li>・また、NPOとの連携など、小規模自治体の特性を活かしている。</li> <li>・町民が実際に取り組んでいるエコ活動等を紹介する取組は、コストをかけずに啓発効果が上がりがそうで良い。持続可能性、予算事業が組みづらい他の小中規模市町村への波及効果も期待できる（+2）。</li> </ul>

※ 評定値は、評定項目ごとに「優れている」…5点、「普通」…3点、「劣る」…1点とする。

→ アピールポイントとしている分野（評定項目）の評定値は、集計時に2を乗じて補正した結果を記載している。

※ 持続可能性、費用対効果、波及効果など特筆すべき要素があれば、3点以内で加点している（加点欄に数値、備考欄に理由を明記）。